

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

職業実践専門課程の基本情報について																													
学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																										
北海道美容専門学校	昭和25年7月14日	布川 耕吉	〒060-0036 札幌市中央区南3条西10丁目1004番地3 (電話) 011-223-3100																										
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																										
学校法人布川学園	平成14年4月1日	布川 耕吉	〒060-0036 札幌市中央区南3条西10丁目1004番地3 (電話) 011-223-3100																										
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																									
衛生	衛生関係専門課程	美容科	平成15年文部科学省 告示第14号																										
学科の目的	本校は、学校教育法及び美容師法に基づく専修学校として、美容師並びに美容関連業種に必要な知識と美容技術を習得させ、美容業界の向上と発展に寄与せしむるとともに、地域社会に貢献し得る人材の養成をすることを目的とする。																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																						
2	昼間	2238時間	561時間		1677時間																								
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																							
400人		303人	0人	13人	16人	29人																							
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期の課目A～D及びN評価として課目毎に評価を行う																								
長期休み	■学年始: 4月1日～4月6日 ■夏季: 7月22日～8月18日 ■冬季: 12月22日～1月5日 ■学年末: 3月19日～3月31日			卒業・進級条件	各学期の課目A～C及びN評価として課目認定され、進級試験、卒業試験に合格すること。総授業時間数の9割以上の出席である者で学費が完納され、判定会議を経て学校長が適当と認めた者																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任と学校生活や就職等の個別相談を年数回行っている。			課外活動	(教養ゼミ)色彩技能パーソナル検定試験対策、経営学(フカカルゼミ)着付、エステティック、ネイル検定対策(校外コンテスト対策ゼミ)全国理容美容学生技術大会、全国技術コンテスト、北海道美容技術選手権大会、フジックデザインコンテスト、Kawaiiコンテスト																								
就職等の状況	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 美容室、美容関連業界			■サークル活動: 無	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																								
	■就職指導内容 就職担当及び担任が個別相談により学生個々の希望を把握し、的確な指導を行っている。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家試験</td> <td>②</td> <td>131人</td> <td>114人</td> </tr> <tr> <td>メイクアップ検定3級</td> <td>③</td> <td>131人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>メイクアップ検定2級</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>フレイブルビューティーフラ</td> <td>③</td> <td>31人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>トニー&カティエロマ</td> <td>③</td> <td>77人</td> <td>77人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師国家試験	②	131人	114人	メイクアップ検定3級	③	131人	82人	メイクアップ検定2級	③	23人	17人	フレイブルビューティーフラ	③	31人	31人	トニー&カティエロマ	③
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
美容師国家試験	②	131人	114人																										
メイクアップ検定3級	③	131人	82人																										
メイクアップ検定2級	③	23人	17人																										
フレイブルビューティーフラ	③	31人	31人																										
トニー&カティエロマ	③	77人	77人																										
■卒業生数 131人 人 ■就職希望者数 119人 人 ■就職者数 116人 人 ■就職率 97.4 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 88.5 % ■その他 ・進学者数: 0人			■自由記述欄 第24回全国学生技術コンテストライティング2部門で文部科学大臣賞(優勝)を獲得 2019年10月24日開催																										
中途退学の現状	■中途退学者 27名 平成31年4月1日時点において、在学者311名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者284名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 経済的事由、進路変更、身体的事由 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等			■中退率 8.7 %																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生制度(本校受験時に面接試験にて選抜し、授業料の一部を減免する) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象外 0名																												
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																												
当該学科の	http://hbs.ac.jp																												

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
学校の教職員と外部団体及び事業を営んでいる等、業界の第一線で活躍している兼任教員が、授業内容の改善を図るために教育課程編成委員会を行う。教育課程編成委員会においては、外部からの意見を、授業に反映させることを目的としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
教務規定において、教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)にあたっては、教育課程編成委

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
トニータナカ	一般社団法人日本メイクアップ連盟 理事長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	②
長谷部 公江	札幌美容協同組合 東支部支部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	①
渡部 勝哉	(有)リンク 代表	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
保谷 公彦	(有)コンベックス・アクター 会長 札幌美容協同組合 手稲支部支部長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年10月9日 13:00～15:00

第2回 令和2年2月18日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会に出された意見を集約し、授業運営に反映させることが適切であると判断した場合には、教育課程の編成に反映させることとした。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

美容師や美容関連業において、外部団体や関連企業が主催する各種検定の取得、総合的な美容技術を習得するために、関連する団体や企業で活躍している方や認定講習を修了した専任教員により実習等を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

・カット(アドヴァンス)～提携しているトニー&ガイ のカット技術を習得させ、修了試験に合格した者に対してトニー&ガイが認定したディプロマを授与する。(単位認定) 教員はトニー&ガイの教員研修講習を修了した者が行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
カット(アドヴァンス)	トニー&ガイのワンレングスカット、グラデーション・レイ	(株)トニー&ガイ ジャパン
基礎メイク	基礎メイクを取得する。メイクアップ検定3級を取得する。	一般社団法人日本メイクアップ連盟
メイクアップ検定対策(ヘアメイクコース)	メイクアップ検定2級取得を目指し知識と技術を習得する。	一般社団法人日本メイクアップ連盟
フィニッシュ(ステージヘア&ファッション)※必修	ヘアショーのステージヘア及びメイクを習得する	(有)リンク

(別途、以下の資料を提出)

* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員については美容技術を高水準に保つために、関連企業及び団体が定める技術基準を習得するため、定期的に関連企業や団体が主催する講習及び認定試験を受けている。

(2) 研修等の実績

①-1 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「令和元年度北海道地区理容美容学校教職員研修会」(連携企業等: 公益社団法人日本理容美容教育センター)
期間: 10月3日(木) 対象: 北海道地区美容学校教員
内容: 「日本髪の結上げ」講演

②-1 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「令和元年度北海道地区理容美容学校教職員研修会」(連携企業等: 公益社団法人日本理容美容教育センター)
期間: 10月3日(木) 対象: 北海道地区美容学校教員

①-2 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「トニー&ガイ教育的提携校認定講師資格更新研修会」(連携企業等: (株)トニー&ガイ ジャパン)
期間: 7月29日(月)～31日(水)、8月19日(月)～21日(水) 対象: トニー&ガイ教育提携校美容教員
内容: ヘアシッカットコース技術指導チェック、指導方法 技術研修

②-2 指導力の修得・向上のための研修等

1. 研修名「文部科学大臣認定 職業実践専門課程に係る研修会」(連携企業等: 北海道専修学校各種学校連合会)
期間: 7月24日(金) 対象: 専修学校教職員
内容: 「職業意識を高めるコミュニケーション」講演会
2. 研修名「文部科学大臣認定 職業実践専門課程に係る研修会」(連携企業等: 北海道専修学校各種学校連合会)
期間: 12月21日(金) 対象: 専修学校教職員
内容: 「あらゆる教育問題は教師の問題に帰着する」講演会

(別途、以下の資料を提出)

- * 研修等に係る諸規程
- * 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評

(1) 学校関係者評価の基本方針

よりよい学校運営を実現するために、学内のみならず、学校の運営に関わりのある企業や学校関係者から、学校運営に関する様々な意見や提案をいただき、学校運営の改善に役立てることを目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材、学校の特色、学校の将来構想
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、組織運営、意思決定能力、人事制度の整備、業務の効率
(3) 教育活動	教育目標・育成人材像、教育到達レベルの明確化、カリキュラムの編成、授業
(4) 学修成果	就職率の向上について、資格取得率の向上について、退学率の低減について、
(5) 学生支援	学生に対する日常生活・就職、経済面等に対する支援体制、学生の健康管理、
(6) 教育環境	施設設備の整備、学外実習・インターンシップ・海外研修についての教育体制、
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動の適正化、教育製菓の正確な伝達、入学選考の適正性・公平
(8) 財務	財務基盤について、予算・収支計画の妥当性、会計監査の適正性、財務情報公
(9) 法令等の遵守	法令の遵守、個人情報保護の確保、自己点検・自己評価の実施と改善
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献について、ボランティア活動の支援
(11) 国際交流	留学生の受け入れについて

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者に出された意見を集約し、学校運営に反映することが適切であると判断された場合には、学校運営に反映させる。具体的に今年度より下記について取り入れている。

学生に対して授業アンケート(講義アンケート)、SNS(Instagram)の活用

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
池上 喜重子	池上学院高等学校 校長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	高等学校校長
高木 邦男	札幌プリンスホテル 総支配人	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	近隣企業等委員
桶谷 治	桶谷法律事務所 所長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	近隣
渡部 勝哉	(有)リンク 代表	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
保谷 公彦	(有)コンパックスアクター 会長	平成31年4月1日～令和3年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・URL: <http://hbs.ac.jp>)

URL:

公表時期: 令和2年9月1日

* 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2

* 自己評価結果公開資料

* 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材育成の目標及び教育移動計画、校長名・所在地・
(2) 各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、カリキュラム、進級・
(3) 教職員	教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	実習・実技等の取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動
(6) 学生の生活支援	学生支援の取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取り扱い、活用できる経済的支援措置の内容等

(8)学校の財務	貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果及び評価結果を踏まえた改善方策
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法
(ホームページ)
URL: <http://hbs.ac.jp>

(別途、以下の資料を提出)
* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	マツダ ユウキ	所属部署	
	氏名	松田 祐喜	役職名	事務局長
	所在地	〒060-0036 札幌市中央区南3条西10丁目1004-3		
	TEL	011-223-3100	FAX	011-223-3110
	E-mail	matsuda@hbs.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本工業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)